

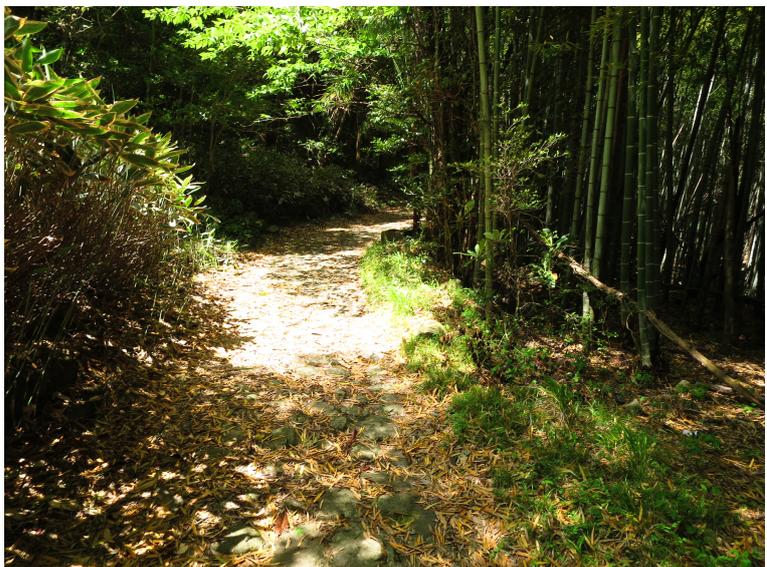
6 2. ^{さぬきかいどう}讃岐街道—^{おおさかとうげごえ}大坂峠越

選定箇所：大坂峠（徳島県板野町—香川県東かがわ市引田町坂元）

概要：大坂峠越は東かがわ市坂元と徳島県板野町を結ぶ阿讃の国境の峠道で、香川県側では「阿波街道」、徳島県側では「讃岐街道」と呼ばれる。昭和34年に海岸沿いに国道11号線が開通するまで、この峠道が香川県と徳島県を結ぶ主要道路であった。この峠道は江戸時代までに使われていた古道、明治8年に造られた旧道、大正10年に造られた新道がある（古道…0.6km、旧道…2.2km）。徳島県側では古道の登り口に藩政期の番所跡が残るが、ルートは不明瞭である。旧道には石畳や路肩石などが残り、当時の峠道の様子を知ることができる。



【写真提供：香川県教育委員会】



【写真提供：徳島県】